



病児保育はお子様が発熱などの病気にかかり、保育園や幼稚園に通えない時に、お預かりする施設です。

★病児保育をご利用の方は、めざわこどもクリニックホームページ“病児保育室みどり”の受け入れ対応を参照してください。

先月の病児保育室みどり利用者の主な病名(2026.5月)

急性咽頭炎、急性胃腸炎、急性上気道炎、急性気管支炎



おねしょで悩んでいませんか??

「もうすぐ小学生なのに・・・」「そのうち治るかな？」
そんなお悩みをお持ちの保護者の方はいませんか??
実は、おねしょ(夜尿症)は珍しいことではありません。

夜尿症とは??

5歳を過ぎて、週に2.3回の頻度で、少なくとも3ヶ月以上連続して夜間睡眠中のおねしょが続く状態を「夜尿症」といいます。
7歳児の夜尿症のお子さんは、約10人に1人の割合で、その後年間約15%ずつ自然治癒していきます。成人になるまでにはほぼ全例が治癒すると考えられています。男女比は約2:1で男児に多いとされています。

どうしておねしょが起こるの??

おねしょは、お子さんの努力不足や甘えが原因ではありません。
主な原因は次の3つです

①夜につくられるおしっこの量が多い

本来は夜になると、おしっこの量を減らすホルモンが働きます。この働きが弱いと、寝ている間にたくさんのおしっこが作られてしまいます。

②膀胱がまだ小さい

成長途中のお子さんでは、膀胱にためられるおしっこの量が少ないことがあります。そのため、朝までおしっこをためておけません。

③眠りが深くて気がつかない

おしっこがたまって、尿意で目が覚めにくいお子さんもいます。そのため、寝ている間におねしょをしてしまいます。

どうやって治すの??

まずは生活習慣を見直すことから始めます。

- ◆ 寝る前にトイレに行く
- ◆ 夕方以降の水分を摂り過ぎない
- ◆ 夜中に無理に起こしてトイレへ連れて行かない
- ◆ 昼間にしっかり水分を摂り、排尿を我慢する練習をする

お薬による治療

夜に作られる尿の量が多いお子さんには、おしっこの量を減らすお薬を使用することがあります。比較的早く効果が期待できるため、修学旅行やお泊まり行事の際も役立ちます。

アラーム療法

おしっこが出始めるとアラームが鳴り、お子さん自身が尿意に気付くように練習する治療法です。続けることで、朝まで尿をためられるようになることが期待できます。

夜尿症には様々な原因があり、治療法もお子さんによって異なります。当院ではお子さんの状態に合わせて治療法を提案していきますので、お気軽にご相談ください。

